

# 戦 評 用 紙

平成26年度 学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会  
バスケットボール大会埼玉県予選会

平成26年6月20日

会 場 和光市総合体育館

Jコート第2試合

対 戦	正智深谷 高校	11	—	18	昌平 高校
	74	17	—	13	48
		24	—	8	
		22	—	9	

第1P 関東大会予選を制した正智とビックセンターを擁する昌平との戦い。両チームの高確率シューター同士の打ち合いとビックマン達のリバウンドの争いが見所のゲームである。お互い激しいハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。正智#4、昌平#7のジャンプシュートで始まり、ハイスコアの展開が予想されたが、お互い固い守りからなかなか得点が伸びない。均衡を崩したのは昌平で、#5#6#7の4本の3pでリードする。ただし、ゴール下は入らない。正智は攻め倦み、18-11昌平リードで終了。

第2P 展開は変わらず、昌平#5#6の連続3p、正智は速攻で返そうとする。リズムが変わらないまま3分が過ぎ、正智のタイムアウト。正智は#4が1対1を仕掛け、ジリジリと差を縮める。昌平がタイムアウトを取り、#15ビックマンがようやくゴール下を決め、存在感を出す。正智は#4の個人技、昌平は#5の3p、#6の強引なドライブで得点するが、ここで昌平#15、正智#4が3ファウルをし、ベンチに戻る。キーパーソンがコートにいない両チームであったが、正智2回目のタイムアウトの後、#7がゴール下で合わせ、31-28昌平3点リードで前半終了。

第3P 開始早々正智#4のドライブ時に#4の肘が昌平#6の額に入り、出血し退場する。選手が目まぐるしく交代する中、正智は#6#8の3p、速攻などで一気に逆転する。昌平は#15がゴール下で合わせ、リバウンドシュートで繋ぐが、ローポストで攻めようとした時にオフenseファウルとなる。そしてチームのボックスアウトミスから遅れてブロックショットに行き5つ目のファウルを犯してしまい、退場。大黒柱を失った昌平は外からシュートを放つもリバウンドを取られ正智に走られてしまう。連続速攻を決めた正智が点差を広げ、52-39正智リードで終了。

第4P 昌平は全員ベンチメンバーとなり、リズムを変えようとするが逆に正智に速攻を出されて点差が広がってしまう。残り3分お互いスタートメンバーに戻し、最後の攻防となるが、正智が落ち着いてボールを運び、最後は#4の速攻で締め、試合終了。

74-48で正智深谷が逆転勝利した。(記録者：草加西高校 伊澤 暁)